

2027年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2026年8月6日

上場会社名 SBIインシュアランスグループ株式会社 上場取引所 東
 コード番号 7326 URL <https://www.sbiig.co.jp/>
 代表者 （役職名）代表取締役 執行役員会長兼社長 （氏名）乙部 辰良
 問合せ先責任者 （役職名）取締役 執行役員 （氏名）大和田 徹 TEL 03(6229)0881
 配当支払開始予定日 —
 決算補足説明資料作成の有無：有
 決算説明会開催の有無：無

（百万円未満切捨て）

1. 2027年3月期第1四半期の連結業績（2026年4月1日～2026年6月30日）

（1）連結経営成績（累計）

（％表示は、対前年同四半期増減率）

	経常収益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	％	百万円	％	百万円	％
2027年3月期第1四半期	42,144	20.6	6,020	23.3	2,380	9.8
2026年3月期第1四半期	34,948	13.0	4,884	31.6	2,168	5.8

（注）包括利益 2027年3月期第1四半期 3,448百万円（43.1％） 2026年3月期第1四半期 2,409百万円（10.3％）

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2027年3月期第1四半期	95.90	—
2026年3月期第1四半期	87.36	—

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	％
2027年3月期第1四半期	239,571	50,392	21.0
2026年3月期	236,330	48,087	20.3

（参考）自己資本 2027年3月期第1四半期 50,204百万円 2026年3月期 47,927百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2026年3月期	—	0.00	—	46.50	46.50
2027年3月期	—				
2027年3月期（予想）		0.00	—	59.00	59.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2027年3月期の連結業績予想（2026年4月1日～2027年3月31日）

（％表示は、対前期増減率）

	経常収益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	円 銭
通期	150,000	6.9	16,000	21.5	3,620	25.7	145.85

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：無
新規 一社 (社名) 一、 除外 一社 (社名) 一

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2027年3月期1Q	24,820,530株	2026年3月期	24,820,530株
② 期末自己株式数	2027年3月期1Q	142株	2026年3月期	142株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2027年3月期1Q	24,820,388株	2026年3月期1Q	24,820,388株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期の経営成績の概況	2
(2) 当四半期の財政状態の概況	5
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	5
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	6
(1) 四半期連結貸借対照表	6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	7
四半期連結包括利益計算書	9
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(四半期連結損益計算書に関する注記)	10
(セグメント情報等の注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	11

※ 当社Webサイトに決算情報の補足説明資料を掲載しておりますので、ご参照ください。

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期の経営成績の概況

① 当社グループの経営成績

当第1四半期連結累計期間における当社グループの経営成績は次のとおりとなりました。なお、経常収益、経常利益、親会社株主に帰属する四半期純利益のいずれも第1四半期連結累計期間としての過去最高を更新いたしました。

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)	対前年同期 増減率 (%)
経常収益	34,948	42,144	20.6
経常利益	4,884	6,020	23.3
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,168	2,380	9.8

経常収益は、すべての事業において保有契約件数が堅調に増加したことが主な要因となり、前年同期比で7,196百万円増加し、42,144百万円（前年同期比20.6%増加）となりました。この増収効果により、経常利益は前年同期比で1,136百万円増加し、6,020百万円（同23.3%増加）となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益については、税金費用の増加があったものの、着実な増収がその影響を吸収し、前年同期比212百万円増加の2,380百万円（同9.8%増加）となりました。

一方、通期では、各セグメントにおける増収効果及び収益性改善施策の効果が順次利益に反映されることから、当初想定の利益水準を確保できる見通しです。

なお、参考情報として、生命保険事業における特別勘定（※）に係る収益を除いた経常収益について、下記に記載しております。

（※）変額保険や変額個人年金保険は運用実績を直接契約者に還元するため、契約者に帰属する特別勘定として資産・負債及び損益を区分経理します。特別勘定に係る収益と費用は、それぞれ同額を計上するため利益に影響を与えないものの、損益計算書の経常収益及び経常費用に含めて表示します。

<参考情報>

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)	対前年同期 増減率 (%)
特別勘定に係る収益を除いた経常収益	33,441	38,682	15.7

② セグメントごとの経営成績

当第1四半期連結累計期間におけるセグメントごとの経営成績は次のとおりであります。

(単位：百万円)

	経常収益			セグメント利益 (親会社株主に帰属する四半期純利益)		
	第1四半期連結累計期間		増減率 (%)	第1四半期連結累計期間		増減率 (%)
	2026年3月期	2027年3月期		2026年3月期	2027年3月期	
損害保険事業	12,270	14,429	17.6	1,819	1,845	1.4
生命保険事業	13,537	17,920	32.4	121	346	186.3
少額短期保険事業	9,186	9,836	7.1	395	398	0.7
報告セグメント計	34,994	42,186	20.6	2,336	2,591	10.9
セグメント間消去又は調整	△45	△42	—	△168	△211	—
四半期連結損益計算書計上額	34,948	42,144	20.6	2,168	2,380	9.8

(注) セグメント利益の「セグメント間消去又は調整」は、当社の一般管理費等による損益であります。

(損害保険事業)

SBI損害保険株式会社は、自動車保険において、保険比較サイトや顧客満足度ランキング等での高評価実績を活用した販売プロモーションを展開し、インターネットを中心とした非対面チャネルでの申込が拡大しました。また、西武信用金庫での「SBI損保のがん保険」福利厚生プラン導入や、長野信用金庫での「SBI損保の海外旅行保険」取扱い開始など、信用金庫との新たな取り組みを進め、地域金融機関とのアライアンス強化による販路拡大に努めました。こうした取り組みの結果、2026年6月末の保有契約件数(団体がん保険の被保険者数を含む)は1,430千件(前年度末比2.3%増加)となりました。

経常収益は、保有契約件数の堅調な増加による保険料の増収などにより、前年同期比17.6%増加の14,429百万円となりました。セグメント利益については、契約件数増加に伴う保険金の増加に加え、税務上の繰越欠損金の解消による税金費用の増加がありましたが、着実な増収がその影響を吸収し、前年同期比1.4%増加の1,845百万円となりました。なお、正味損害率及び正味事業費率の低下によりコンバインド・レシオは前年同期の86.3%から82.0%へと4.3ポイント低下しております。今後は、契約件数の拡大に伴う経過保険料の着実な積み上げに加え、保険料適正化施策等による増収効果が順次顕在化することから、利益改善ペースは進行し、通期では利益水準は改善するものと見込んでおります。

保険料(元受正味保険料)は前年同期比17.9%増加の18,776百万円となりました。

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)	対前年同期 増減率 (%)
元受正味保険料(※1)	15,920	18,776	17.9

また、コンバインド・レシオは前述のとおり、前年同期比4.3ポイント改善しております。

(単位:%)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)	対前年同期 比較増減 (ポイント)
正味損害率(※2)	71.2	68.0	△3.2
正味事業費率(※3)	15.1	14.0	△1.1
コンバインド・レシオ(※4)	86.3	82.0	△4.3

(※1) 元受正味保険料=元受保険料-(元受解約返戻金+元受その他返戻金)

(※2) 正味損害率=(正味支払保険金+損害調査費)÷正味収入保険料

(※3) 正味事業費率=(諸手数料及び集金費+保険引受に係る営業費及び一般管理費)÷正味収入保険料

(※4) コンバインド・レシオは、正味損害率と正味事業費率を合計した指標で、支払備金や責任準備金の状況は加味されていないものの、損害保険会社の収益性を端的に表す指標です。

(生命保険事業)

SBI生命保険株式会社は、AX(AIトランスフォーメーション)戦略の一環として、コールセンターの後処理業務を生成AIで完全自動化するシステムを内製開発・導入しました。これにより、年間約5,000時間の業務削減によるオペレーターの負担軽減を見込むとともに、応対品質の標準化・高度化を通じた顧客体験価値の向上に取り組みました。こうした取り組みの結果、2026年6月末の保有契約件数(団体信用生命保険の被保険者数を含む)は751千件(前年度末比3.5%増加)となりました。

経常収益は、保有契約件数の順調な増加による保険料の増収などにより、前年同期比32.4%増加の17,920百万円となりました。セグメント利益は、この増収効果に加えて資産運用が好調に推移したことにより、前年同期比186.3%増加の346百万円となりました。

保険料は前年同期比18.1%増加の9,309百万円となりました。

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)	対前年同期 増減率 (%)
保険料	7,882	9,309	18.1

また、基礎利益は前年同期比43.9%増加の2,835百万円となりました。

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)	対前年同期 増減額
経常利益 A	2,060	2,995	935
キャピタル損益 B	△3	3	7
臨時損益 C	94	156	62
基礎利益 A－B－C (※)	1,969	2,835	865

(※) 基礎利益は、保険料収入や保険金・事業費支払等の保険関係の収支と利息及び配当金等収入を中心とした運用関係の収支からなる生命保険会社の基礎的な期間損益の状況を表す指標です。

(少額短期保険事業)

SBI日本少額短期保険株式会社は、USEN少額短期保険株式会社との賃貸不動産市場における戦略的パートナーシップ提携に向けた基本合意契約を締結し、テナント保険分野での新たな販売連携に向けた取り組みを推進しました。SBIペット少額短期保険株式会社は、株式会社鹿児島銀行にて「SBIペット少短のペット保険」の取扱いを開始したほか、LINE上で保険金請求状況を確認できるサービスを開始し、顧客利便性の向上に努めました。こうした取り組みの結果、2026年6月末の保有契約件数は1,065千件（前年度末比1.0%増加）となりました。

経常収益は、保有契約件数の堅調な増加による保険料の増収などにより、前年同期比7.1%増加の9,836百万円となりました。セグメント利益は、保険金支払いや税金費用が増加したものの、増収効果がそれらの影響を吸収し、前年同期比0.7%増加の398百万円となりました。なお、正味事業費率の低下によりコンバインド・レシオが前年同期比0.6ポイント改善するなど収益性は向上しており、また、保有契約件数の増加により着実に業容は拡大しております。

保険料は前年同期比3.5%増加の6,043百万円となりました。

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)	対前年同期 増減率 (%)
保険料	5,839	6,043	3.5

また、コンバインド・レシオは前述のとおり、前年同期比0.6ポイント改善しております。

(単位：%)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)	対前年同期 比較増減 (ポイント)
正味損害率 (※)	47.5	48.0	0.5
正味事業費率 (※)	29.2	28.1	△1.1
コンバインド・レシオ (※)	76.7	76.1	△0.6

(※) 損害保険事業に準じて算出しております。

(2) 当四半期の財政状態の概況

当第1四半期連結会計期間末における総資産は、前年度末に比べ3,240百万円増加し、239,571百万円となりました。主な増減は、有価証券の増加6,115百万円、現金及び預貯金の増加1,150百万円、買入金銭債権の減少1,552百万円であります。

当第1四半期連結会計期間末における負債は、前年度末に比べ935百万円増加し、189,178百万円となりました。主な増減は、保険契約準備金の増加4,780百万円、債券貸借取引受入担保金を含むその他負債の減少3,996百万円であります。

当第1四半期連結会計期間末における純資産は、剰余金の配当により1,154百万円減少しましたが、親会社株主に帰属する四半期純利益2,380百万円を計上したことや、その他有価証券評価差額金が1,050百万円増加したことなどにより、前年度に比べ2,305百万円増加し、50,392百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第1四半期連結累計期間における当社グループの経営成績は概ね当初予想どおりに推移しており、2026年5月12日公表の2026年3月期決算短信に記載いたしました2027年3月期の連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2026年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2026年6月30日)
資産の部		
現金及び預貯金	33,583	34,734
買入金銭債権	2,588	1,035
金銭の信託	241	172
有価証券	160,967	167,083
貸付金	149	150
有形固定資産	883	886
建物	455	449
リース資産	6	6
その他の有形固定資産	421	431
無形固定資産	8,104	8,944
ソフトウェア	5,121	6,030
のれん	2,523	2,472
その他の無形固定資産	459	441
代理店貸	100	54
再保険貸	11,903	10,910
その他資産	17,195	15,275
繰延税金資産	513	223
支払承諾見返	100	100
貸倒引当金	△0	△0
資産の部合計	236,330	239,571
負債の部		
保険契約準備金	158,234	163,015
支払備金	25,331	24,967
責任準備金	123,569	126,985
契約者配当準備金	9,333	11,062
代理店借	487	340
再保険借	8,275	8,367
その他負債	19,640	15,644
退職給付に係る負債	12	12
価格変動準備金	1,268	1,302
繰延税金負債	223	396
支払承諾	100	100
負債の部合計	188,243	189,178
純資産の部		
株主資本		
資本金	8,375	8,375
資本剰余金	32,043	32,043
利益剰余金	9,852	11,078
自己株式	△0	△0
株主資本合計	50,270	51,496
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△2,342	△1,291
その他の包括利益累計額合計	△2,342	△1,291
新株予約権	32	43
非支配株主持分	127	144
純資産の部合計	48,087	50,392
負債及び純資産の部合計	236,330	239,571

（2）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
（四半期連結損益計算書）

（単位：百万円）

	前第1四半期連結累計期間 （自 2025年4月1日 至 2025年6月30日）	当第1四半期連結累計期間 （自 2026年4月1日 至 2026年6月30日）
経常収益	34,948	42,144
損害保険事業	12,237	14,397
保険引受収益	11,961	14,107
正味収入保険料	11,168	13,547
積立保険料等運用益	7	6
支払備金戻入額	785	553
資産運用収益	274	286
その他経常収益	1	3
生命保険事業	13,534	17,916
保険料等収入	11,505	13,751
保険料	7,882	9,309
再保険収入	3,622	4,441
資産運用収益	1,981	4,157
利息及び配当金等収入	474	571
有価証券売却益	—	73
為替差益	—	49
その他運用収益	0	0
特別勘定資産運用益	1,506	3,462
その他経常収益	47	8
少額短期保険事業	9,176	9,830
保険料等収入	8,939	9,478
資産運用収益	1	3
その他経常収益	234	348
経常費用	30,063	36,123
損害保険事業	9,845	11,846
保険引受費用	6,944	8,628
正味支払保険金	6,838	7,959
損害調査費	1,112	1,246
諸手数料及び集金費	△1,109	△1,241
責任準備金繰入額	102	663
その他保険引受費用	0	0
資産運用費用	164	145
営業費及び一般管理費	2,736	3,071
その他経常費用	1	0

（単位：百万円）

	前第1四半期連結累計期間 （自 2025年4月1日 至 2025年6月30日）	当第1四半期連結累計期間 （自 2026年4月1日 至 2026年6月30日）
生命保険事業	11,393	14,826
保険金等支払金	7,942	9,811
保険金	2,761	3,399
年金	140	211
給付金	363	431
解約返戻金	536	1,099
その他返戻金	316	313
再保険料	3,825	4,355
責任準備金等繰入額	1,646	2,999
支払備金繰入額	—	314
責任準備金繰入額	1,646	2,685
資産運用費用	158	245
支払利息	11	16
有価証券売却損	5	80
金融派生商品費用	57	119
為替差損	57	—
その他運用費用	27	28
事業費	1,433	1,522
その他経常費用	211	248
少額短期保険事業	8,658	9,244
保険金等支払金	5,663	6,134
責任準備金等繰入額	159	215
事業費	2,766	2,835
その他経常費用	69	57
その他	165	206
経常利益	4,884	6,020
特別損失	33	35
固定資産等処分損	0	1
価格変動準備金繰入額	33	33
契約者配当準備金繰入額	1,852	2,527
税金等調整前四半期純利益	2,998	3,457
法人税及び住民税等	325	714
法人税等調整額	490	348
法人税等合計	816	1,063
四半期純利益	2,182	2,394
非支配株主に帰属する四半期純利益	14	14
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,168	2,380

(四半期連結包括利益計算書)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)
四半期純利益	2,182	2,394
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	227	1,053
その他の包括利益合計	227	1,053
四半期包括利益	2,409	3,448
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,394	3,431
非支配株主に係る四半期包括利益	15	17

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(四半期連結損益計算書に関する注記)

生命保険事業のその他経常収益の内訳は次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)
支払備金戻入額	41百万円	－百万円
その他の経常収益	6	8
計	47	8

(セグメント情報等の注記)

I 前第1四半期連結累計期間(自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)

1. 報告セグメントごとの経常収益及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	損害保険 事業	生命保険 事業	少額短期 保険事業	計		
経常収益(注) 1						
外部顧客への経常収益	12,237	13,534	9,176	34,948	－	34,948
セグメント間の内部経 常収益又は振替高	32	3	10	45	△45	－
計	12,270	13,537	9,186	34,994	△45	34,948
セグメント利益(注) 3	1,819	121	395	2,336	△168	2,168

(注) 1. 一般企業の売上高に代えて、経常収益を記載しております。

2. セグメント利益の調整額△168百万円は、当社の一般管理費等による損益であります。

3. セグメント利益は四半期連結損益計算書の親会社株主に帰属する四半期純利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間(自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)

1. 報告セグメントごとの経常収益及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	損害保険 事業	生命保険 事業	少額短期 保険事業	計		
経常収益(注) 1						
外部顧客への経常収益	14,397	17,916	9,830	42,144	—	42,144
セグメント間の内部経 常収益又は振替高	32	3	6	42	△42	—
計	14,429	17,920	9,836	42,186	△42	42,144
セグメント利益(注) 3	1,845	346	398	2,591	△211	2,380

(注) 1. 一般企業の売上高に代えて、経常収益を記載しております。

2. セグメント利益の調整額△211百万円は、当社の一般管理費等による損益であります。

3. セグメント利益は四半期連結損益計算書の親会社株主に帰属する四半期純利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)
減価償却費	430百万円	499百万円
のれんの償却額	50	50